



## 犬・笑・暮だより vol.125



### 春から始まる熱中症予防

体温を下げる能力が低い犬。熱中症にかかったらたいへんです。熱中症を発症しないためには予防が肝心！  
熱中症対策は、既に春から始まっています。

#### 熱中症は予防が肝心です

犬は人間のように全身で汗をかくことで体温を発散できないので、体温を下げる能力が大変低いのです。夏場の暑さや直射日光、湿度の上昇などで体温が上がり過ぎてしまうと、熱中症を発症してしまいます。熱中症は死に至ることも珍しくない、怖い症状です。暑い季節は十分に気をつけてあげましょう。

熱中症は予防が肝心です。夏場、散歩時や遊ぶ時には愛犬の様子をよく見ながら時々休憩を入れましょう。舌を大きく出していたり、息が上がって来たりしたら、日陰の涼しい所で休ませます。風通しが十分ある場所を選びましょう。直接日が当たらなくても、風通しが悪いと体温は下がりにくいものです。そのせいで室内でも熱中症にかかるケースがあるわけです。

人間が「暑くて不快」な状態は、犬にはかなり危険な環境になることをお忘れなく。外に出かける時間帯も、日が暮れてからにするなど、十分配慮しましょう。また、小まめに水分補給をさせることも重要です。常に新鮮な水が用意出来るようにしておきましょう



#### 夏の前に気をつけておきたいこと

夏になってから気をつけるのはもちろんですが、これからの季節、朝晩はまだ涼しい時間帯もありますが、日中の気温は「夏日」になることも珍しくありません。また、梅雨の季節は気温はそれほど高くなくても、湿度が非常に上がってムシムシします。もう、今から油断大敵なのです。

けれども、少し暖かくなってきたからと言って、常に低めの温度でクーラーを使っていたりすると、犬は暑さに対する耐性を身につけられません。本格的に暑くなって来た時に、外気温との差に対応出来ず、ちょっと散歩をただけで倒れてしまったりします。

梅雨時まではなるべく自然の風通しを確保し、クーラーを使わないようにしましょう。また、使用する際は設定温度を高めにしておくことで、犬は暑さに強くなり、多少の暑さではへこたれなくなります。

熱中症の予防は、既に春から始まっているのです。

※子犬や老犬は抵抗力がないので、ちょっとの暑さでも参ってしまうことがありますから、気をつけて下さい。

また、寒い地方の毛量の多い犬や短頭種は、暑さに極端に弱いので要注意です。



愛犬に関するお住まい・お庭のお悩みは **庭遊館** にお気軽にご相談下さい



携帯サイトはコチラ！！

庭園工事・外構工事・管理・設計施工

株式会社 庭遊館

〒504-0945 各務原市那加日新町6-65

TEL 058-216-3110

FAX 058-216-3113

<http://www.teiyukan.jp>

